

## 主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値※）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データを基に、『日本・アジア / 米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

### 主要航路の荷動きのポイント

#### 北米航路

往航（2020年1月）1,558,438TEU（2.0%減）（2019年1月：1,590,623TEU）

・《日本積みが前年比10.0%減。ASEAN、南アジアは過去最高を更新》

復航（2019年11月）564,425 TEU（1.5%減）（2018年11月：573,258TEU）

- 北米往航（アジアから米国）は、前年比2.0%減で4か月連続のマイナス。2020年1月の中国（塩田）-ニューヨーク間の運賃は前年比8.1%減の2,370ドル/TEUで6か月連続のマイナス。
- 北米復航（米国からアジア）は、前年比1.5%減で、2か月連続のマイナス。2020年1月のニューヨーク-中国（塩田）間の運賃は前年比6.4%増の830ドル/TEUで2か月連続のプラス。

#### 欧州航路

往航（2019年12月）1,497,796 TEU（1.3%減）（2018年12月：1,517,053TEU）

・《2か月連続の減少、2019年累計では前年比2.6%増で過去最高を更新》

復航（2019年12月）617,549TEU（7.1%減）（2018年12月：664,753 TEU）

・《12か月振りの減少、2019年累計では前年比6.3%増で過去最高を更新》

- 欧州往航（アジアから欧州）は前年比1.3%減で2か月連続のマイナス。2020年1月の中国（塩田）-英国（フェリックストウ）間の運賃は、前年比9.0%増の1,450ドル/TEUで3か月連続のプラス。
- 欧州復航（欧州からアジア）は前年比7.1%減で12か月振りのマイナス。2020年1月の英国（フェリックストウ）-中国（塩田）間の運賃は、前年比12.2%増の1,010ドル/TEUで2か月連続のプラス。

#### 日中航路

往航（2019年12月）859,869トン（8.4%減）（2018年12月：939,074トン）

・《紙類を中心に減少、2019年累計では、前年比13.8%減で1,000万トン割れ》

復航（2019年12月）1,731,925トン（3.0%減）（2018年12月：1,786,393トン）

- 日中往航（日本から中国）は、前年比8.4%減で10か月連続のマイナス。金額ベースでは前年比1.5%減の7,558億円で10か月振りのプラス。2020年1月の横浜-上海間の運賃は前年比2.1%増の480ドル/TEUで17か月連続のプラス。
- 日中復航（中国から日本）は、前年比3.0%減で3か月連続のマイナス。金額ベースでは前年比7.3%減の1兆589億円で5か月連続のマイナス。2020年1月の上海発-横浜向の運賃は前年比9.4%増の700ドル/TEUで2か月連続のプラス。

#### アジア域内航路

（2019年12月）3,609,500 TEU（7.6%増）（2018年12月：3,355,100 TEU）

・《2019年累計では、前年比0.6%増の42,670,000TEUで過去最高を更新》

- CTS社による集計では、前年比7.6%増となる361万TEUで2か月連続のプラス。2020年1月のアジア域内コンテナ運賃指数（US\$/FEU）は前年比9.5%増の900ドル/FEUで13か月連続のプラス。

注1：速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2：日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3：運賃指数はDrewry, *Container Freight Rate Insight*に基づく



図 - 1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

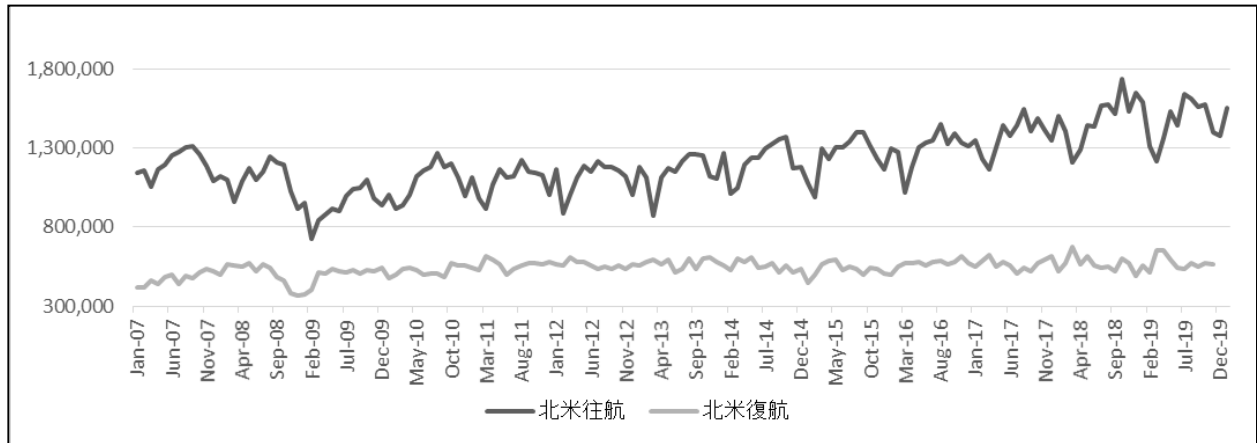


図 - 2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

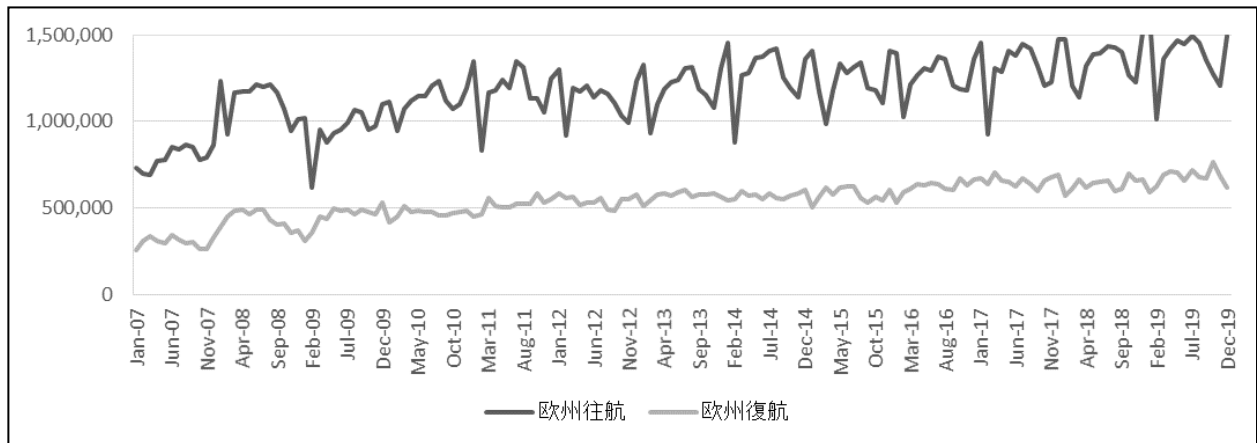


図 - 3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: トン)

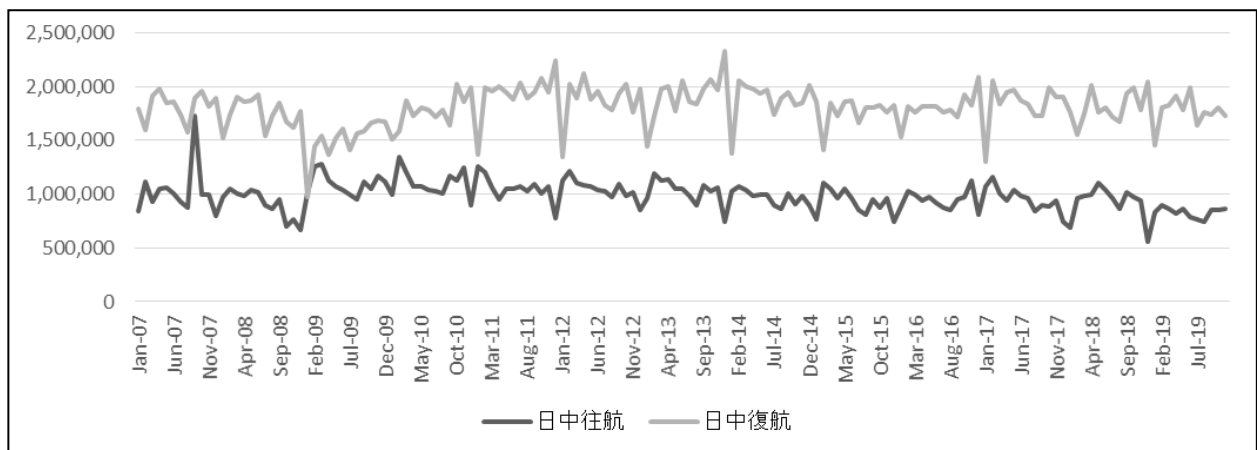


図 - 4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 ( 単位 : TEU )

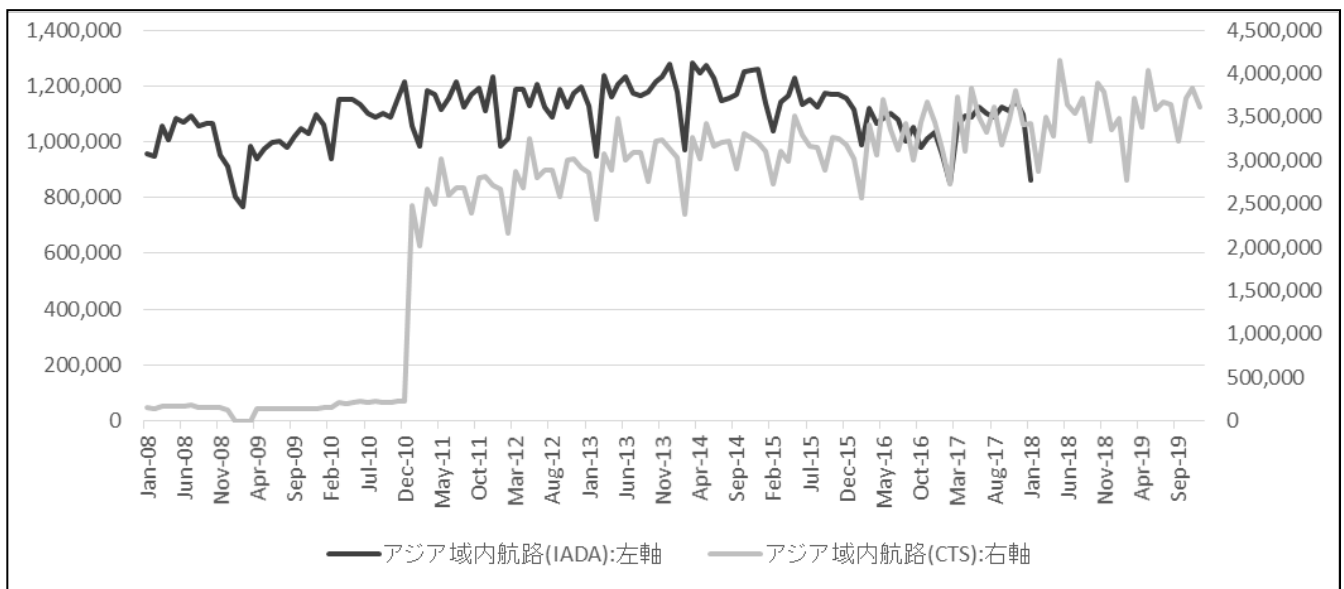


図 - 5 北米航路における運賃指数の推移 ( 単位 : ドル/TEU )

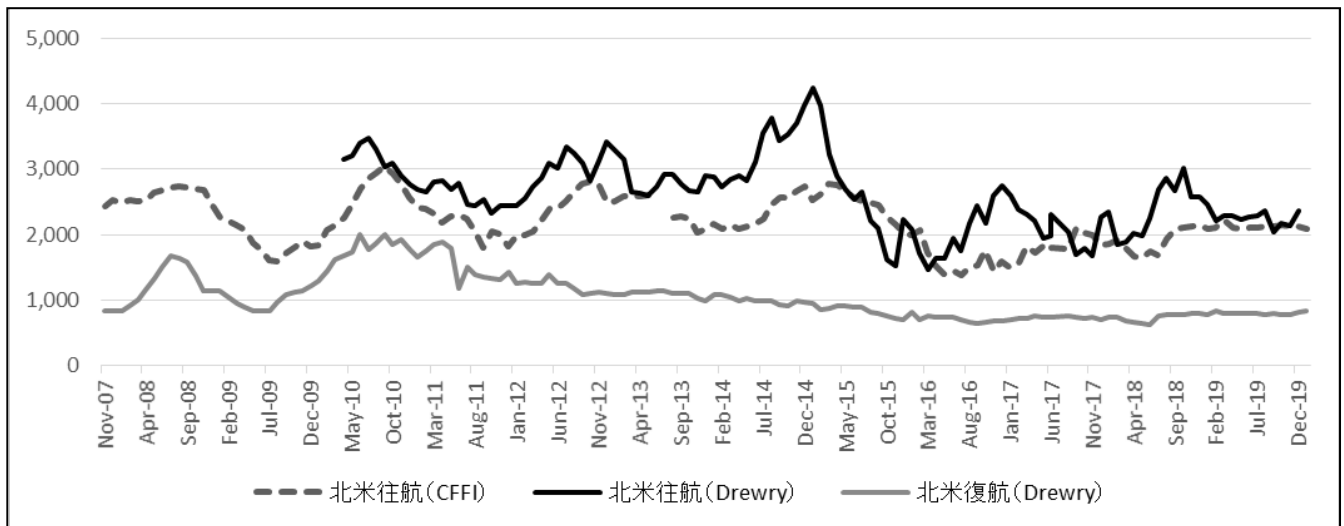


図 - 6 欧州航路における運賃指数の推移 ( 単位 : ドル/TEU )

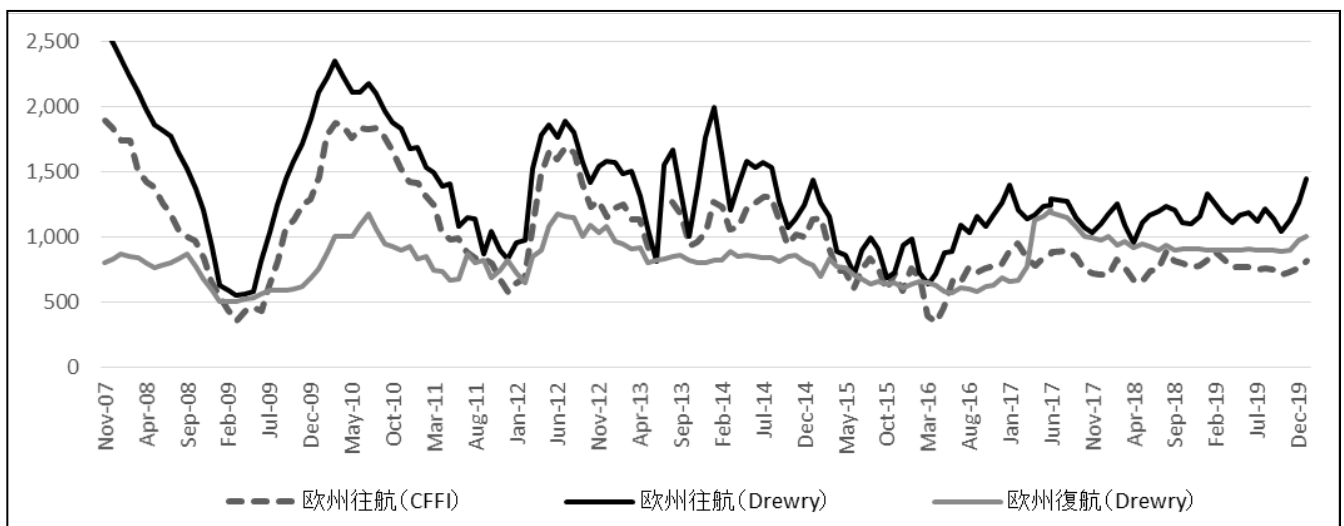
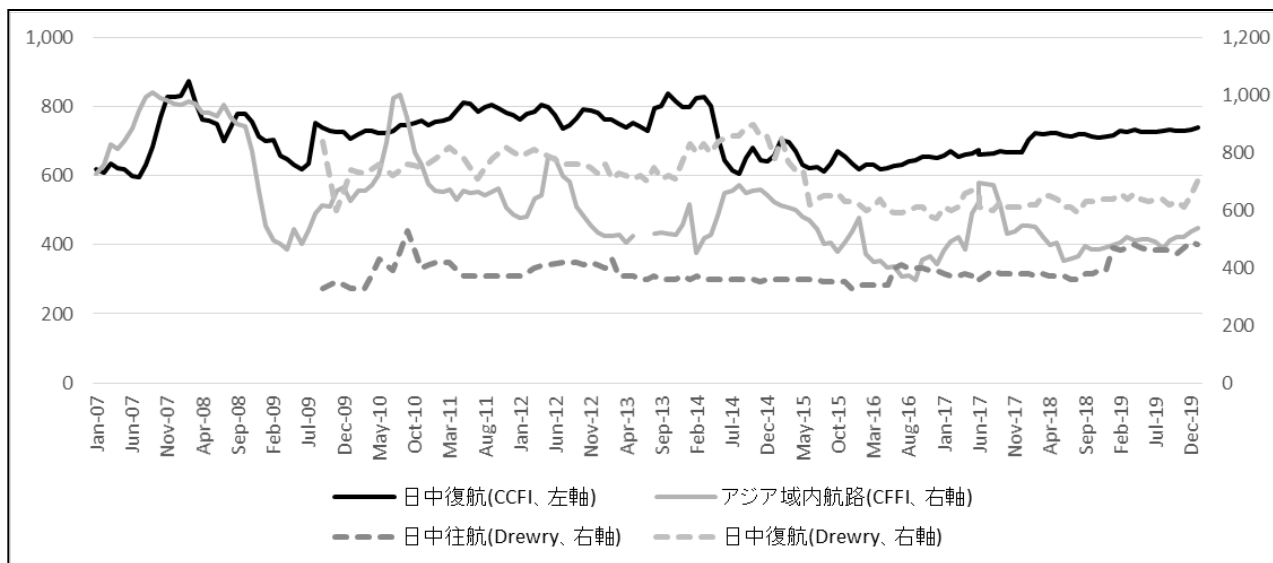


図 - 7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移 ( 単位 : 指数 ( 左軸 )、ドル/TEU ( 右軸 ) )



( 参考 ) 輸送量・運賃データの出所

- 1.北米航路輸送量 : PIERS ( Port Import/Export Reporting Service ) データ
- 2.欧州航路輸送量 : Container Trade Statistics Ltd.
- 3.アジア域内航路輸送量 : IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd. ( CTS 社 )
- 4.日中航路輸送量 ( トンベース ) : ( 公財 ) 日本海事センター企画研究部 ( 注意 : 財務省貿易統計に基づきトンベースで推計 )
- 5.北米航路、欧州航路運賃指数 ( 往航では ( CI,Drewry ) と示した列、復航 ) : Drewry “Container Freight Rate Insight”:南中国 ( 塩田 ) と米国東岸 ( ニューヨーク )、英国 ( フェリックストウ ) 間の運賃
- 6.北米航路、欧州航路運賃指数 ( ( CFFI ) と示した列 ) : 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>
- 7.アジア域内航路運賃指数 ( 毎月 ) : 中国国際海運網ウェブサイト ( 中国・東南アジア間航路の運賃指数 ) Drewry “Container Freight Rate Insight”:Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)
- 8.日中航路運賃指数 :
  - ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly” ( 上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数 ( ( CFFI ) と示した列 ) ) :
  - ・ **Drewry “Container Freight Rate Insight” ( 中国 ( 上海 ) と東京/横浜間の運賃 ) : 2014 年 4 月発表の資料より変更**
- 9.BDI ( バルチック海運指数 ) :
  - ・ トランプデータサービス “World Maritime Analysis”
- 10.円ドルレート :
  - ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>